

記入上の注意

(吹き出しを読んでもください)

業績優秀者返還免除申請書

(様式1-1表)

平成 年 月 日

申請年月日

直接入力可、修正液使用は不可です。

下記の記載事項に相違ありません。特に優れた業績による返還免除を申請します。

大 学 院 名			
課 程	☐ 修士（博士前期）課程 ☐ 専門職大学院課程 ☐ 博士（博士後期）課程		
研究科名・専攻名	学 籍 番 号		
奨 学 生 番 号	生 年 月 日	昭 和 年 月 日	
フ リ ガ ナ			
氏 名	印 (印刷のうえ) 本人押印厳守		
現 住 所	〒 電話番号		
卒 業 後 の 連 絡 先	〒 認定結果通知を6月下旬に送付する住所となります。 確実に郵便物が届く住所を記入してください。「同上」は不可。		

■大学院における研究課題等

題 目			
概 要			
○印を一つ以上付して、必ず業績証明資料を添付してください。			
本学では「東京大学大学院学則第5条2項」の定めるものとなります。			

■教育活動等の業績

(○) 学位論文その他の研究論文	() 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	() 著書、データベースその他の著作物（前二号に掲げるものを除く。）
() 発明	(○) 授業科目の成績	() 研究又は教育に係る補助業務の実績
() 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	() スポーツの競技会における成績	() ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績

記入の際は裏面記載の【記入上の注意】を参照。

特に優れた業績内容の要旨を800字程度で枠内に記入してください。

論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入してください。また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記入してください。

業績免除の推薦者で返還誓約書の提出がない者については、日本学生支援機構で業績免除が不認定とされる場合があります。奨学厚生課奨学チームへの返還誓約書の提出締切日は、次のとおりです。

・平成23年3月満期貸与終了者：平成22年12月10日(金)
(提出が遅れた場合も受け付けますので、奨学チームに必ず連絡してください。)

・平成23年3月末日までに退学・辞退・短縮修了等を予定し、2月末日までに異動願を提出した貸与終了者：平成23年4月15日(金)

・奨学生の記入箇所はこの欄までです。もれなく記入できているか確認してください。

・業績証明資料共に、両面印刷し(押印したうえで)、原本1部及びコピー 部の合計 部を用意して、所属の研究科等の奨学金担当係に申請してください。(部数は奨学金担当係に確認してください)

・第一種奨学生の課程別対象者の上限3割までが学校推薦できます。

【返還誓約書の提出について】

☐ に該当するものに○印を記入し、提出日または提出予定日を記載

☐ 提出済み 平成 年 月 に大学へ提出済

☐ 提出予定 平成 年 月 頃 大学へ提出予定

【記入上の注意】

1. 「現住所」及び「卒業後の連絡先」の欄は、返還誓約書の記載内容と同一とすること。
なお、返還誓約書は学校の指定する所定の期限までに提出すること。
(リレー口座の加入手続は返還誓約書提出前に行うこと。)
(4月1日以降に「卒業後連絡先」に変更があった場合には、返還のてびきの転居届を提出すること。)
2. 「課程」及び「教育研究活動等の業績」欄は該当するものに○を記入すること。
3. 「教育研究活動等の業績」欄に○を付した項目について、裏面にそれらの要旨を800字程度で記載すること。
なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。
また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
4. 大学院における成績証明書及び特に優れた業績を証明する資料を必ず添付すること。

(注) これは様式1の裏面です。様式1-1は両面刷りで作成すること。